

2023年8月10日

カーボンブラック協会

2023年（R5）カーボンブラック需要年央見直し

内閣府の7月の月例経済報告によると、国内景気は雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって緩やかな回復が続くことが期待されている。一方、世界的な金融引き締めが続く中、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクがあるとしている。

このような経済環境の中で、カーボンブラック需要の7割を占める自動車タイヤ需要について（一社）日本自動車タイヤ協会が、9割超を占めるゴム産業全体の新ゴム消費量について（一社）日本ゴム工業会が本年の見直し需要をそれぞれ公表している。

これによると、自動車生産は前年比10.1%増（年初見通し比1.4%増）、タイヤの国内需要見通しは前年比1.2%増（年初見通し比0.9%減）、新ゴム消費量は、前年比3.8%増（年初比0.8%減）となっている。

自動車生産が年初見通し比で1.4%増と微増になっている中、タイヤの国内需要と新ゴム需要見通しは年初見通し比で夫々0.9%減、0.8%減と微減ではあるが下方修正されている。

当協会は、（一社）日本自動車タイヤ協会と（一社）日本ゴム工業会の見直しをベースに、カーボンブラックの輸出入の状況等を加味して2023年のカーボンブラック需要の見直しを行った。この結果、カーボンブラック総需要は前年比1.5%増、年初見通し比2.6%減の708,390トンとした。

なお、「年央見通しの指標」については添付資料の【表1】を、「カーボンブラック需要年央見直し」については同【表2】、「輸入動向年央見直し」については【表3】を夫々参照願う。

以上

【表1】 2023年 年央需要見通しの指標

	2022年実績		2023年 年初需要見通し		2023年 年央需要見通し	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
自動車生産 (千台)	7,835	99.8%	8,507	108.6%	8,627	110.1%
タイヤゴム消費 (トン)	1,003,020	98.8%	1,040,960	103.8%	1,034,110	103.1%
一般ゴム消費 (トン)	238,180	98.3%	257,740	108.2%	254,590	106.9%
新ゴム消費量計 (トン)	1,241,200	98.7%	1,298,700	104.6%	1,288,700	103.8%

【表2】 2023年カーボンブラック年央需要見通し

数量単位：トン

	2022年		2023年 年初見通し		2023年 年央見通し	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
タイヤ	462,392	98.0%	478,840	103.6%	475,690	102.9%
一般ゴム	135,763	98.3%	146,910	108.2%	145,110	106.9%
ゴム用計	598,155	98.1%	625,750	104.6%	620,800	103.8%
非ゴム	44,119	94.3%	44,500	100.9%	39,170	88.8%
内需計	642,274	97.8%	670,250	104.4%	659,970	102.8%
輸出	55,965	89.9%	57,000	101.8%	48,420	86.5%
[内ゴム用計]	15,158	86.3%	16,000	105.6%	13,510	89.1%
総需要	698,239	97.1%	727,250	104.2%	708,390	101.5%
[内ゴム用計]	613,313	97.7%	641,750	104.6%	634,310	103.4%

【表3】 2023年カーボンブラック輸入動向

数量単位：トン

	2022年実績		2023年 年初見通し		2023年 年央見通し	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
ゴム用	116,735	85.3%	125,000	107.1%	108,790	93.2%
非ゴム用	13,400	97.1%	13,500	100.7%	11,610	86.6%
合計	130,135	86.4%	138,500	106.4%	120,400	92.5%

以上